

平成28年涌谷町議会定例会7月会議（第1日）

平成28年7月28日（木曜日）

議事日程（第1号）

1. 開 会

1. 開 議

1. 会議録署名議員の指名

1. 会議日程の決定

1. 議員派遣の事後報告

1. 議案第58号 平成28年度涌谷町一般会計補正予算（第3号）

1. 休 会

午前10時開会

出席議員（12名）

1番	竹中弘光君	2番	佐々木敏雄君
4番	稲葉定君	5番	大友啓一君
6番	只野順君	7番	後藤洋一君
8番	久勉君	9番	杉浦謙一君
10番	門田善則君	11番	大泉治君
12番	鈴木英雅君	13番	遠藤稔雄君

欠席議員（1名）

3番 佐々木みさ子君

説明のため出席した者の職氏名

町長	大橋信夫君	副町長	佐々木忠弘君
総務課長 兼参事	渡辺信明君	企画財政課長 兼参事	今野博行君
建設課長	佐々木竹彦君		
教育委員会教育長	笠間元道君	教育総務課 副参事	木村敬君

事務局職員出席者

事務局長	高橋貢	総務班長	木村智香子
再任主査	高橋正幸	主事	日野裕哉

◎開会の宣告

(午前10時)

○議長（遠藤稔雄君） 皆さん、おはようございます。

大変蒸し暑い中、また、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。本日は、議案2カ件の予定でございますが、いろいろ財政的な面、あるいは教育の面、様々な考えを皆様からお示しいただいてのご審議となりますようお願い申し上げまして、挨拶といたします。

○議長（遠藤稔雄君）

ここで、開会前に、お知らせしておきます。3番 佐々木みさ子議員から欠席の届け出が出ています。

本日7月28日は休会の日でございますが、議事の都合により、平成28年涌谷町議会定例会を再開し、7月会議を開会いたします。

◎開議の宣告

○議長（遠藤稔雄君） 直ちに会議を開きます。

◎議事日程の報告

○議長（遠藤稔雄君） 日程をお知らせいたします。

日程は、お手元に配った日程表のとおりでございます。

◎会議録署名議員の指名

○議長（遠藤稔雄君） 日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名は、会議規則第118条の規定により議長において、4番 稲葉 定君、5番 大友 啓一君を指名いたします。

◎会議日程の決定

○議長（遠藤稔雄君） 日程第2、会議日程の決定を議題といたします。

お諮りいたします。7月会議の日程につきましては、本日1日としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（遠藤稔雄君） 異議なしと認めます。

よって、7月会議の日程は、本日1日と決しました。

◇

◎議員派遣の事後報告

○議長（遠藤稔雄君） 議員の派遣を議長において別紙のとおり決定しておりますので、ご了承願います。

◇

◎議案第58号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（遠藤稔雄君） 日程第3、議案第58号 平成28年度浦谷町一般会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（大橋信夫君） おはようございます。よろしく議審願います。

議案第58号の提案の理由を申し上げます。

本案は既定の予算額に、歳入歳出それぞれ7,500万円を増額し、総額を72億342万6,000円にいたそうとするものでございます。

補正の主な内容でございますが、歳入につきましては、繰入金において、今回の補正財源として財政調整基金繰入金を増額いたし、町債につきましては、篁岳白山小学校改修工事分についての地方債を増額するものでございます。

次に歳出でございますが、総務費におきましては、わくや天平の湯の温泉配管漏水修繕に係る経費及び友好都市であります林川面において、9月24日から開催されます「百済文化祭」に、ご招待いただきましたので、表敬訪問し友好関係をますます拡大すべく、渡航費用等所要の経費を増額するものでございます。

教育費につきましては、篁岳白山小学校改修工事について追加工事が必要となったことから所要の経費を増額するものでございます。

詳細につきましては、担当課長から説明いたさせますので、よろしくお願い申し上げます

○議長（遠藤稔雄君） 企画財政課長より順次説明をお願いします。

○企画財政課長（今野博行君） それでは、3ページをお開きください。第2表地方債補正で1地方債の追加でございますが、後で歳出にでまいります篁岳白山小学校改修事業を目的といたしまして、限度額を事業費の充当率75%で積算いたしまして5,150万円とするものでございます。

6ページ、7ページにまいります。歳入でございます。18款2項1目財政調整基金繰入金1,900万円の増額

でございますが、今回の補正の財源として繰り入れをするものでございます。本補正予算可決成立後の基金の残高は、7億1,080万9,000円となるものでございます。21款町債につきましては、第2表でご説明したとおりでございます。8ページ、9ページ歳出にまいります。2款1項1目2一般管理経費、普通旅費65万6,000円の増額でございますが、町長が提案理由で申し上げましたとおり9月24日から開催されます百済文化祭にあわせましての表敬訪問ということで、その経費4人分をお願いするものでございます。4目1管財一般経費の修繕料102万6,000円の増額でございますが、わくや天平の湯の温泉配管に漏水が発見されまして、その修繕にかかる経費をお願いするものでございます。漏水箇所等を資料で説明いたします。平成28年涌谷町議会定例会7月会議資料の1ページをお開きください。温泉及び医療福祉センター付近の空中写真でございますが、今回、平成10年にオープンいたしました温泉のために第1源泉から温泉まで約340mを布設した配管の漏水箇所として表示している部分がございますが、そちらのほうから漏水が発見されました。2ページには漏水している管の継ぎ手部分を表示しております。この部分、ちょうど曲がりの部分でございますが、歪みが生じやすい部分でございます。地震等による影響も考えられますが、いずれにせよ原因は経年劣化によるものとの報告を業者の方から受けております。その部分を一式交換修繕いたすものでございます。以上です。

○教育総務課副参事（木村敬君） 10款2項1目3小学校施設整備費6,870万1,000円につきましては、現在改修中の筥岳白山小学校、旧筥岳中学校でございますが、ここの校舎改修に伴う経費でございます。工事につきましては現在8月末までの工期でアスベスト除去工事を進めているところでございます。しかしながら、4月下旬に廊下天井を剥がしたところから昭和45年当時の不具合箇所が見つっております。これに伴う改修工事を行うという部分、それから平成27年度の改修工事において、当初設計に含まれていなかった工事のうち、改修工事の施工上どうしても必要となると判断しました、電気、機械設備、そして外部改修の追加工事を行うもので、あわせて6,870万1,000円という内容でございます。工事の財源につきましては小学校施設整備事業債により5,150万円を充当する内容でございます。なお詳細につきましては建設課長から説明いたしますので、よろしくお願ひいたしたいと思ひます。

○建設課長（佐々木竹彦君） それでは資料の3ページをお開きください。これは、筥岳中学校の改修工事につきまして、経年劣化でない躯体不具合につきまして、去る7月13日の全員協議会におきまして、監理委託してあります大建設計の樋口室長様から詳細についてはご説明した資料の内容でございます。続きまして4ページをお開きください。その中で平面図がございまして、現在懸案となっておりますのは、2階部分の廊下の天井を撤去して再確認をし、補修を予定しております。その他白抜きにしている部分は、補修も兼ねて、それから躯体の形状等もわかりますので、それに併せて補修改修を行っていくものです。それから5ページから7ページまでは、写真の説明で、全協での説明の添付内容と同じでございます。最後の8ページになります。増減表の一覧表の一番下の欄になります。27年度の予算残額をすべて使うわけにいかなく、起債の範囲内での工事内容を追加変更という形と、28年度に新たに起債が打てる金額として予算上は、6,870万1,000円の補正増額となるものでございます。総額として、9,297万9,360円となります。以上でございます。

○企画財政課長（今野博行君） 14款1項1目①予備費11万7,000円の増額につきましては、歳入歳出の差額を調整したものでございます。以上で説明を終わります。

○議長（遠藤稔雄君） これより質疑に入ります。ございませんか。4番。

○4番（稲葉定君） この間、全協で補修のことについて説明は受けたが、2階部分の天井はまだわからないとかいう話があったが、また次に補正という、何かあったらという考えなのでしょうか。

○議長（遠藤稔雄君） 建設課長。

○建設課長（佐々木竹彦君） 全員協議会の後、7月20日に設計事務所の方で、現地を確認、部分的に開いてみたところ、天井の中の状況は、1階3階よりは少ない状況がみられたので、この予算の範囲内で、今考えております。

○議長（遠藤稔雄君） 4番。

○4番（稲葉定君） 今のところ、補正でどうのこうのという新たな費用を出すということは考えなくてよろしいのでしょうか。

○議長（遠藤稔雄君） 建設課長。

○建設課長（佐々木竹彦君） 今の時点では考えておりません。

○議長（遠藤稔雄君） 他に。6番。

○6番（只野順君） 地方債の補正でございますけれども、今回、地方債を補正して、この地方債の残高を教えてくださいたいのが、第1点。それから、箕岳白山小学校の今後の10年ぐらいの生徒の数を教えていただきたいと思います。この2点、まずお伺いします。

○議長（遠藤稔雄君） 企画財政課長。

○企画財政課長（今野博行君） 申し訳ございません。今、資料が手元にないものですから少々お待ちください。

○議長（遠藤稔雄君） それでは、教育総務課木村副参事、箕岳白山小学校の今後の児童数の推移。

〔「私のほうから」という声あり。〕

○議長（遠藤稔雄君） 教育長。

○教育長（笠間元道君） それでは、私の方から分かる範囲内で。児童数の推移状況ですけれども、平成32年度まで、今、統計を持っておりますけれども、今年度が1名増になりましてちょうど100名でございます。29年度が97名、30年度が97名、31年度99名、32年度100名、こういう状況でございます。ここまでです。こちらのほうで押さえておりますのは。

○議長（遠藤稔雄君） それでは最初の質問は留保していただきまして、2番について質問を続行してください。

○6番（只野順君） 箕岳白山小学校、だいたい100名の人数でずっと過ごせればいいのかと思います。まあ人口減少の傾向、あるいは箕岳地区における子供の減少というのが少なくなるという方が、今後の推移だと思います。ここに対して確かに統廃合によって、これだけの金額をおかけして、そしてまあ小学校としての利用はそのまま続くと思いますが、あの利用の仕方というか、それはあの地域にとって、果たしてどうなのかと、そこまで検討して進められているのか、一点お伺いしておきます。

○議長（遠藤稔雄君） 休憩します。

○議長（遠藤稔雄君） 再開いたします。

○6番（只野順君） すいません。今改修している旧箕岳中学校の改修で、今後箕岳白山小学校として使用して行くわけですが、果たして100名の規模でずっと進んでいく学校作りをしていくのか、あるいはそのまま今これだけのお金をかけて、そういった学校にしていくのかをちょっと、お聴きしたいのですが、わかりますか。

○議長（遠藤稔雄君） 教育長いいですか。

○教育長（笠間元道君） なかなかこれは、まちづくりというか、地域づくりにも想定、拡大されることですが、今のご質問内容は、教育委員会としては、現在お話しのように100名前後ということで推移していきます。これは、当初適正規模適正配置の時でございますが、やはりこの涌谷町をそれぞれ箕岳地区、東地区、西地区のそれぞれのいわゆる特色ある教育力があるという事を確認させていただきました。また、箕岳地区は箕岳地区で、地域と学校とのつながりが深いということもございまして、そして幼稚園小学校については、それぞれに地区に1校ずつ1園ずつと。そしてそれぞれの3地区からの小学校を統合して新生涌谷中学校。そしてそれぞれの地域で身についたそれぞれの力を、切磋琢磨するとそして伸びてもらいたい。それで100名ということですが、いわゆる町で、今年度平成28年3月ですか、第5次総合計画を策定しまして町で進めております。その中に総合戦略というものもございます。目標として年少人口というのがありますが、これは、0歳から14歳までの人口、これが最後の目標人口となっていますけれども。2060年は年少人口が1,618名となっています。現在はどのくらいかといいますと、2020年で1,626名だいたいその辺あたりを推移しているんですね、やはり教育委員会といたしましても目標でありますので、まちづくりの一環といたしまして教育行政として、私としても進めていきたいと、このまま現段階では進めていくということでございます。

○議長（遠藤稔雄君） 企画財政課長、先ほどのよろしいですか。

○企画財政課長（今野博行君） 大変申し訳ございませんでした。年度末でお話いたしますと、66億6,894万8,000円という数字になっております。

○議長（遠藤稔雄君） はい、同じ事で2回目となっていますので、6番。

○6番（只野順君） 今の教育長のお話は、わかりますけれども、学校としてこれだけのお金をかけてしっかりと整備していくということで私は理解しています。箕岳地区に当然小学校はひとつ欲しいと。地域の方々の希望もそうですし、やはり立派な学校にさせていただきたいとは思いますが、しかしながら、幼稚園の関係もあります。あるいは保育の関係もあります、あそこが今度また、小学校から幼稚園の方と外れるというか、離れて中学校の方に行くわけなんで、その兼ね合いなんかの計画というのも、こういった予算の中で最初の方に取り入れておいた方がいいのかなと。これは今のところ改修工事ということになっていますけれども、将来的には児童の保育とか今の改修工事を行っているところに集中していくのかなと考えております。こういったところも見えおきながら進めていただきたいと思います。

それから今の地方債の補正でございますけれども、66億円、ここ五、六年間くらいは65億円くらいの推移でございます。果たしてこういった状況で、借財を抱えて後世にまで残す状況で、涌谷は健全に財政運営が出来るのかというところで、企画財政課長にもう一度お話を伺いたいと思います。どういった方向か、減らしていく方が私は当然いいと思いますけれども、起債を起さなくともやっつけられるような事業がないのか、あるいは、今の学校についても国県からの支援がないのかについてもお聴きします。

○企画財政課長（今野博行君） お答えいたします。議員さんおっしゃるとおり当然地方債の方、現在高の方は減らしていくという方向で財政としては考えております。昨年度は、さまざまな事業が多くありまして、10億円以上の借入れをしております。ただ、その前の年までのお話をしますと借入れする分と、あと、そちらの方で減らしていく分で、約1億円か2億円ずつ、そちらの方の現在高を減らしておりますので、そういう方

向で借りるものは少なく、返すものはなるべく多くして、現在高を減らしていくというスタンスで、財政の方では考えております。

○議長（遠藤稔雄君） 教育長。

○教育長（笠間元道君） 学童クラブにつきましては、今、議員さんご存じのように放課後児童クラブということで国のほうで進めております。町もそれを今、福祉課子育て支援班のほうで、いわゆる近々「子ども、子育て会議」を開いて、その制度設計を行うわけですが、幼稚園については、今の場所ということで、それ以上のことは、現段階ではまだ、教育委員会としては検討していません。

ただ、学童クラブ、放課後学童クラブですけど、これにつきましては、小学生対象ですので、やはりできるだけ経費のこともございますし、安全対策もございますので、できるだけ学校、あるいは小学校学校周辺で行いたいという要望、希望は持っておりますけれども、現段階ではそういう状況でございます。

○議長（遠藤稔雄君） 企画財政に関する、もう一回残っていますが。

○6番（只野順君） 今起債のことをお話しましたが、そういったことで事業を行うのはなかなか大変だと思います。その財源に関しては、今回の財調の減額というか、この間、ずっと企画財政で財政調整基金が7億1,000万円、まあ7億円ちょっとくらいに減ってきているということございますけれども、年々減ってきているんですね。12億円くらいあったのが、11億円、今回、今年はそのほかにも庁舎建設基金1億5,000万円を取り崩して組んでいながらも、今の段階で7億という状態で残っているのが適正なのかは判断が難しいところでございますが、これだけ財政調整基金をつかって運営していくといくことは、健全財政への危機感というのはあるのですか、企画財政課長。

○議長（遠藤稔雄君） 企画財政課長。

○企画財政課長（今野博行君） はい。おっしゃるとおり7億円という、まあいってみれば、私としても本来10億円以上はあるべきかなと思いますが、そちらにつきましては、今後上司と相談いたしまして、当然危機感のほうは全職員持っていると思いますけれども、なおさらそちらのほう徹底いたしまして、今後の財政運営を考えていきたいと思っています。以上です。

○議長（遠藤稔雄君） 他にございませんか。はい、1番。

○1番（竹中弘光君） いろいろでてまいっておりますけれども、一番は子供が人質という形のもとに、事業が進められているということに関して、文句を言いたくても、やっぱり最終的には認めなければならないのかなというのは、正直な気持ちですけれども、ただ思うにはあまりにも業者の言いなりというかですね、指導のもとにあまりにも言われたことに対して、理解しすぎというかですね、もう少しですね前の段階で、議会に諮る前の段階で、担当者同士の中でやり方があったのではないかという反省が必要だと思うのですよ。今後、先ほどもありましたが、補正はないという解釈のもとに出ていますけれども、実際ないとも限らないわけですよ。一度あることは二度ある。二度あることは三度あるということわざもありますし、前にですね、5番議員さんも質問したんですけれど、今までずっと40何年間もってきた建物を、結果的にそれが確かに躯体というか、悪く言えば万が一ということがないとも限りませんので、子供人質の中ですね、しないよりはしたほうが良いというのは絶対そのとおりなんですけれども、しかし、やはりそれ以上の想定外の事が起きたら、したことに対してだって、やはり絶対という言葉は使えないと思うのですよ。その部分の中で、こう言ったらおかし

いですが、やはり担当課の方で、その折衝部分、それが本当に大丈夫なのかという部分を、その業者だけでなく他のところにも情報を得るような形で折衝出来なかったのかなということ、まあ、ちょっととりとめのない質問だと思いますが、担当者の中でそういったことが出来なかったのかということをお聞きしたいと思います。

○建設課長（佐々木竹彦君） 昨年の7月から籠岳白山小学校の改修工事をすすめている中で、いろいろな条件に想定していなかったアスベスト等、それから4月に発見した不具合等があり、現場の方でも施工業者含めて、想定していない部分もございました。また、設計の段階でも見込めなかった部分もあり、改めて監理業者が変わった今回の改修工事の状況でございます。まあ予算を追加しているのは間違いないのでございますけれども、今、設計事務所、それから業者の方も、役場も含めまして協議した金額で提案しておりますので、むやみに言いなりのような形でないことをご理解いただければと思います。

○1番（竹中弘光君） ただですね、このような形で、まだ改築途中でございますけれども、何故ここまでなったのかを検証というものを、ぜひしていただくよう求めて質問を終わります。

○議長（遠藤稔雄君） 建設課長。

○建設課長（佐々木竹彦君） 内容について、あと精査しながら業者と監理業者を含めて進めていきたいと思えます。

○議長（遠藤稔雄君） 他にございませんか。はい、10番。

○10番（門田善則君） 前者の方々もいろいろとお話されましたが、単純にこの校舎、籠岳白山小学校の校舎の改修についてはですね、当初予算からかなり膨らんできていると、そういう状況があります。前回の議会で私が言ったことが誤解されたのかなと、副町長ともお話ししたのですが、1億6,000万円のアスベストが発見されたときの予算をつけた時に、何故もっと調査をして、その時に発見していれば、もしかして足場代のリース代が若干でも軽減になるのではないかという考えが私にはあったんですね。ですから一度にアスベストが出たという段階で、もっときちんと調査すべきだったろうと、いつも後手後手で、後からこれ出た、また出たと、前に公民館で失敗して、また、中学校で失敗して、アスベストが出て発見して、その時点で2階の天井なり3階の天井なり全部剥がしてね、それ以外に何もなければ、やるのが当然だと私は思ったのですよ。だから、前回の議会でもそういったお話をさせていただいた。そしたら、発注したのは前の町長だからうんぬんどうのこうのとありましたけれども、そのことを言っている訳でなくて、1億6,000万円の発注する段階では、今の町長が発注しているわけで、その段階で発見できなかったのかということを行っているわけですよ。ですから、こういった膨れてくることを前者の方々、みんな心配しているわけですよ。二度とこういったことはないのかとか、2階の部分を剥がしていないけれどもどうなんだとか、実質、課長の説明では剥がしてみただけで、この金額で間に合うと。実質、2億6,000万円から1億6,000万円増えて、6,800万円増えたら、約5億円ですよ。5億円。財政課長がさっき答弁していましたが、大変な出費ですよ、当初から比べると。教育委員会ではどういうふうに捉えているかわかりませんが、涌谷町の財政、今の基金残高7億円。来年の当初予算で3億円取り崩す、また病院でほしくなった、2億円くださいと言われたら、ここ1、2年で終わりですよ、財調なんて。教育委員会はこの膨れている部分については、当初から予定できなかったのかどうか、もしかしたら、調査が甘かったのではないかと、その辺はどう考えているのですか、教育長。

○議長（遠藤稔雄君） 教育長。

○教育長（笠間元道君） ずいぶん長く、昨年の9月からですか、いろいろアスベストの問題が出てまいりまして大変ご迷惑をおかけしているのは、重々反省しています。今の件につきましてはですね、前に監査をしていただきましたけれども、あの中にいろいろと指摘されております。その辺はこちらもきちっと受け止めて、今おるわけですけれども、ただ、結果としてこうなってしまったと、これについては申し上げる弁解の余地もございません。ただ、何回も申し上げますけれども、あの監査の内容をきちっと押さえて今後進めていく、これ以外に我々の立場としてはないと思っています。

○10番（門田善則君） 教育長としては当然の考えかなというふうに理解しますが、単純に涌谷町の財政状況は厳しい状況にあるということは教育委員会もわかっていることだと思うのですが、やっぱり今後他にこの旧篁岳中学校に経費がかからないことを私は望むわけですが、前者もそういった心配をしているわけです。それは町の財政状況を鑑みているからなのですね。そこで企画財政課長に聴きますけれども、当初の予算からこれだけ増えてしまって、財政としては、児童生徒の教育環境を早く整備するためにも金を出さなければならぬというのは当然のことだと理解しますが、今後の見通しとして、今の財調が年度内にまた2億円なり3億円使うものがあるのか、ないのか、また、来年の当初でどのくらい見通しがあるのか、その辺、分かる範囲でお答えください。

○議長（遠藤稔雄君） 企画財政課長。

○企画財政課長（今野博行君） それではお答えします。分かる範囲でとのことでございます。議員さん大変心配なさっています、病院の方、そちらの方が今後、これまでの経緯、それから今後の経緯によっては、繰り出しと申しますか、そちらの方が可能性としてあると考えています。また、今年度の事業はそれほど大きい事業はないと財政の方では捉えています。それから来年度の見通しでございますが、先ほど3億円の取り崩しでないかとの話しがございましたけれども、今年度も2億円取り崩しております。そちらの方、極力取り崩しをしない方向での予算付け、あるいは財源の見通しを、各課に話しをしまして当然危機感を持っていただいて、自分で財源の方を探してきて事業をするという意気込みで町の皆様の生活が安定的に暮らせるような事業も行いながら、財政運営をしていきたいと考えております。以上です。

○議長（遠藤稔雄君） 10番。

○10番（門田善則君） 了解です。まあ企画財政課長としては素晴らしい答弁だと思っております。最後になりますが、町長にお聴きしますが、涌谷町の財政状況は、今、企画財政課長がお話ししたとおりであります。私としては、町民を代表する議員の立場としましては、町の安定、財政についても安定ということをお願いしております。そういった中で、歳入確保というものが一番の部分になってくるのかなというふうに考えられますが、町長として歳入確保というものをどのように考えているのか、最後にお聴きして終わりにしたいと思います。

○町長（大橋信夫君） 歳入確保ということでございますが、10番議員、大変財政のことを心配いただきありがとうございます。ちなみにここ3カ年間の財調の動きを見ますと、26年度当初で9億5,400万円、年間通しまして2億5,000万円取り崩しました。しかしながら、1億1,300万円積み立てしております。それで、27年当初で、2億7,600万円取り崩しましたので、8億6,000万円からスタートいたしまして、最終的に年度末には9億9,000万円ということになり、増えました。28年当初におきましては2億900万円を取り崩しておりますので、

7億8,600万円からスタートしまして現在7億1,000万円ということでございます。従いまして年度途中の積み立て、取り崩しもございますけれど、今後9月議会がございまして、その間に去年も5,000万円くらい不用額がでましたので、そういった不用額の積み立てをしながら、財調をしっかり管理していきたいと、このように思っております。

それから、自主財源ということでございますが、いわゆる国の交付税といわゆる町税をはじめとする自主財源でその成り立っているわけですね、交付金ありますけれども。そういった中で工夫の余地が残るのが町税収入かなと。今産業振興に力を入れておりまして、特に若手の商業者の方があのように皆さんご存じのとおり、夏祭りをああゆう形で大々的にやりたいと。大々的にやるということは、力を合わせて町を何とかしたいという話がありました。それを大事にしながらいろんな方々が産業施策に取り組んでいただければと思っておりますので、その辺のところを期待しながら、農政とか商業とか工業とかにつきまして、いわゆる企業誘致も併せて、自主財源の確保に取り組んでまいりたいと、このように考えております。

○議長（遠藤稔雄君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（遠藤稔雄君） これにて質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（遠藤稔雄君） これにて討論を終結いたします。

これより議案第58号 平成28年度涌谷町一般会計補正予算（第3号）を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立全員〕

○議長（遠藤稔雄君） 起立全員であります。

よって、議案第58号 平成28年度涌谷町一般会計補正予算（第3号）は原案のとおり可決されました。



◎休会の宣告

○議長（遠藤稔雄君） 以上をもって今期涌谷町議会定例会7月会議に付された事件は全て議了いたしました。お諮りいたします。

本会議は、この後、あす7月29日から12月28日までの153日間を休会といたしたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（遠藤稔雄君） 異議なしと認めます。

よって、あす7月29日から12月28日までの153日間を休会とすることに決しました。

本日はこれをもって散会いたします。

大変ご苦勞さまでした。

散会 午後0時03分